



全国の販売店様をご紹介

No.207

ねんどのお店だより 2025 年 4 月号

アフガン サフラン



アフガニスタン産のドライフルーツを食べたことはありますか？アフガニスタンの大地には、豊富な果実がたくさん実り、世界一フルーツが美味しいといわれています。私も「世界一おいしい！」と胸をはって言えます。天日で干したレーズンは、驚くほどの甘さと香りで歯触りも抜群。マルベリーは山に自生する桑の実で作り、濃厚な甘さと食感から「森のキャラメル」と呼ばれます。在来種のナッツやフルーツを無農薬で育て、いずれも砂糖や油を使っておらず、濃厚な甘みとコクがあり、ビタミン・ミネラル・ポリフェノール・食物繊維などがたっぷり。

アフガニスタンは、40年以上も戦乱や混乱が続いています。幼年期はアフガン社会の混乱の中で農園を営む父親の背中を見て育ちました。国民の8割が農業に従事している農業大国です。銃を持って戦うのではなく、畑を耕し、種を蒔き、宝石のようなフルーツを育てている農家さんを応援するべく、直接契約し、現地の適正価格フェアトレード購入し、持続的な取引をしていて、日本全国に卸売やネット販売もしています。日本の皆様にも、太陽の恵みをたくさん受けた母国の名産を楽しんで頂きたいと思います。情勢が不安定なアフガニスタンの農家さんや、女性達の就労支援にも繋がります。

1年前にタリバンが復権して以来、アフガニスタンでは女性の抑圧が強まっていて、戦乱で夫や父を亡くした女性農家たちは、収穫した作物を男性の同伴なしに市場に売りにさえ行けない状況です。彼女たちを支えるために、女性農家の契約を増やし援助や支援を行なっています。

長女の小学校の入学式に出席し、娘の成長に深い喜びを感じながらも、同時にアフガンの子どもたちのことを考えずにはいられませんでした。「生まれてきてくれてありがとう、ここまで大きくなってきてありがとう」と思うとともに、悲しさがこみ上げました。「日本では、娘は安心安全に教育を受けられるけれど、アフガンだったらどうだろう。」この気持ちを忘れたくありません。タリバン復権以来、女性への抑圧はさらに強まるばかりです。私は「自分たち夫婦に娘が生まれたのは、神様の思し召し」だとおもっています。

アフガニスタンで、いつも一緒に学校に通っていた年子の妹は、ある日突然中学に通うのを禁止されてしまった。きょうだいで大学に行かなかったのは彼女だけ。行かないんじゃないくて、行けなかった。女性の地位が低いのは、外で仕事ができず、生活を男性に頼っていることも大きい。前例のない支援活動を困難な状況下でやり続けています。この気持ちの強さは、自分以外の誰かのためだからこそ生まれる物だと思っています。

代表 アシュラフ バブリ

アフガンサフラン

〒271-0093 千葉県松戸市小山35-2 松戸パレス1F
TEL: 047-317-6997 月～土: 11時～18時 日: 定休日



※【6月より店舗移転】
神奈川県足柄上郡中井町 2414-1
TEL: 080-5035-7661



自然栽培・農薬不使用・天日乾燥 人の手で丁寧に一つ一つ収穫、殻むき、乾燥している



店内にはボディクレイ商品と、現在も内戦が続くシリア産の「アレppoの石鹸」も。